

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### 2 教科に関する調査

- (1) 調査対象：小学校第6学年の児童及び中学校第3学年の生徒
- (2) 出題範囲：調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則
- (3) 出題内容：「知識」と「活用」の2種類の問題を出題

主として「知識」を問う 国語A、算数A、数学A、理科	主として「活用」を問う 国語B、算数B、数学B、理科
身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など	知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

### 3 質問紙調査

- (1) 調査対象：小学校第6学年の児童及び中学校第3学年の生徒
- (2) 調査内容

児童・生徒に関する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### 4 調査日

平成27年4月21日（火）

### 5 平戸市の調査実施校及び児童生徒数

#### (1) 実施校数

小学校 17校                      中学校 9校                      計26校

#### (2) 参加児童生徒数

小学校6年生                      260人  
中学校3年生                      289人

## II 平戸市の結果の概要

### 1 平均正答率の全国との比較

校 種	小 学 校					中 学 校				
	国 語		算 数		理 科	国 語		数 学		理 科
領 域	A	B	A	B		A	B	A	B	
結 果										

※結果「+」…平戸市の平均正答率が全国平均正答率以上のもの

【平成27年度は、平戸市の平均正答率が全国平均正答率以上のものではありません。】

※領域「A」…主として知識に関する問題 「B」…主として活用に関する問題

### 2 各教科別の成果と課題及び改善策

#### 【小学校】

教科・領域	成果 (○) 課題 (●) [設問番号] 改善策 (※)
国語A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字を正しく読むこと（招く、信念、承知）[1-1~3]</li> <li>●コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜くこと [5二]</li> <li>※コラムの特徴を捉えるために実際の新聞の中からコラムを集めて多読しどのような話題が取り上げられているか、それに対して筆者がどのような考えを持っているのか比べ読みをさせる。</li> <li>●文の主語として適切なものを選択すること [2一]</li> <li>※例文の中から主語と述語を区別して取り出す活動を行う。</li> </ul>
国語B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じ、中心となる語や文を捉えること [2イ]</li> <li>●目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと [1三]</li> <li>※読み手に伝えたいことの内容を明確にし、自分で調べた内容や、関係者に取材した事柄の中から取捨選択するようにする。その際、事実、感想や意見などメモを取らせておく。</li> <li>●文章と図とを関係づけて、自分の考えを書くこと [2三]</li> <li>※図表やグラフなどが添えられた文章を提示し、それらを関係付けて読んだり、自分の考えを書いたりする指導を意図的に行う。</li> </ul>
算数A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り上がりのある2位数の加法の計算をすること [2(1)]</li> <li>○式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解すること [8]</li> <li>●円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として円の特徴を選ぶこと [5(1)]</li> <li>※角の大きさや辺の長さの求め方が適切である根拠を明確にさせる。</li> <li>●分度器を用いて180°よりも大きい角の大きさを求めること [4(2)]</li> <li>※180°よりも大きな角を求めるために、角の大きさの見当を付けたり補角を用いた測定方法を判断活動を取り入れたりする。</li> </ul>

算数B	<p>○平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解すること [1 (1)]</p> <p>●示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量をもとめること [2 (2)]</p> <p>※日常生活での、20%増量、30%値引きなど割合が様々な場面に用いられていることを例にあげながら、比較量を求める場面の考え方を基にして数量の関係を把握できるようにする。</p> <p>●長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述すること [5 (1)]</p> <p>※前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えたり説明したりする。また、解決のために必要な根拠を満たす説明となっているか話し合う活動も取り入れる。</p>
理科	<p>○打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係づけながら考察すること [4 (6)]</p> <p>●析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述すること [3 (6)]</p> <p>※実際に固体が溶けたり、析出する様子を実際に観察させ、実感を伴って理解させる。</p> <p>●顕微鏡の適切な操作方法を選ぶこと [2 (4)]</p> <p>※器具の各部位の名称や役割を目的に応じた操作方法を確認しながら理解させる。</p>

【中学校】

教科・領域	成果 (○) と課題 (●) 及び改善策 (※)
国語A	<p>○文脈に即して漢字を正しく読むこと [9二3、9二2]</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと [9三ア]</p> <p>●単語の品詞について理解すること [9四②]</p> <p>※単に文法的な知識として学習するだけでなく、具体的な文章を通して考えるように指導する。</p> <p>●語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと [9三オ]</p> <p>※日常生活で使うことの少ない語句について指導する場合は、実際に使われている場面を取り上げてその意味を理解し、短文を作ったり別の表現で言い換えたりする学習活動を行う。</p>
国語B	<p>○目的に応じて適切な資料を選択すること [1二]</p> <p>○表現の工夫について適切なものを選択すること [3一]</p> <p>●複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと [2三]</p> <p>※多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりするために、複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えさせる。</p> <p>●文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと [3三]</p> <p>※作品全体の印象が変わるかなどについて、根拠を示しながら書いたり話し合ったりする学習活動を設定する。その際自分の考えの根拠が明確に示されているか検討させる。</p>

数学A	<p>○比の意味を理解すること [1 (1)]</p> <p>○同位角の意味を理解すること [6 (1)]</p> <p>●数量の関係を文字式に表すことができる [2 (2)]</p> <p>※関係を図に表したり、具体的な数や言葉を使った式を利用したりして関係を捉え、その関係を文字式に表すことを指導する。</p> <p>●対頂角は等しいことの証明の必要性と意味を理解すること [8]</p> <p>※帰納的な方法と演繹的な推論による説明の役割を理解する場面を設定し証明の必要性と意味についての理解を深められるよう指導する。</p>
数学B	<p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる [2 (1)]</p> <p>●事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること [1 (3)]</p> <p>※日常的な事象における三つの数量の関係について、言葉で表された式を取り上げ、三つの数量のうちの一つを定数とみて残りの二つの数量の関係を捉える場面を設定し、その式の数学的な意味を考えられるようにする。</p> <p>●図形に着目して考察した結果を基に問題解決の方法を図形の性質を用いて説明すること [3 (2)]</p> <p>※問題解決の方法や手順を説明する手順を設定し、図形の性質などの「用いるもの」とその「使い方」について明らかにするよう指導する。その際、実物や模型を観察したり実際に操作したりする学習を取り入れる。</p>
理科	<p>○塩化ナトリウムを化学式で表すこと [1 (1)]</p> <p>○天気図から風力を読み取ること [2 (1)]</p> <p>●音の高さは「空気の部分の長さ」に関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想すること [6 (2)]</p> <p>※自然の事物・事象の原因として考えられる複数の要因を基に、知識や概念を活用して仮説を立て、それらを検証するための実験を計画する場面を設定する。</p> <p>●他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができる。 [2 (3)]</p> <p>※複数の資料を活用して、多面的、総合的に考察する学習場面を設定する。</p>

### 3 児童・生徒質問紙による児童・生徒の特徴（全国の割合との比較）

（○：よい状況 ●：改善を要する状況）

#### 【共通】

- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に行く。
- 全教科において「調査問題の解答時間が不足している」と答える児童生徒の割合が全国平均より高い。

#### 【児童】

- 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている。

- 学習塾（家庭教師を含む）で勉強している。
- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると考える割合が低い。
- 学校の授業などで自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しい。

#### 【生徒】

- 普段（月～金曜日）1日当たり2時間以上、メディア（TV、ゲーム、メールインターネット等）を利用する生徒が少ない。
- 家で学校の授業の復習をしている。
- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たり2時間以上勉強をする生徒が少ない。
- 数学に対する苦手意識をもっている。

### 4 児童生徒の学習・生活習慣と学力の関係

次の児童生徒ほど、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

#### 【共通】

- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書く。
- 国語の授業で文章を読むとき、段落やまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる。
- 問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法で考える。
- 算数・数学の授業で公式やきまりを習うときそのわけを理解するようにしている。
- 全教科の書く問題で、最後まで解答を書こうと努力した。

#### 【児童】

- 友達の前で自分の考えや意見を発表することができる。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。
- 家で学校の授業の復習や予習をしている。
- 5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。
- 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）をまとめを書いていた。
- 読書は好き。
- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする。
- 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考える。

#### 【生徒】

- 毎日同じくらいの時刻に起きている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 家で、学校の宿題をしている。
- テレビのニュース番組やインターネットニュースを見ている。

- 学校の規則を守っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある。
- 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返っている。

### Ⅲ 平戸市の今後の取組

- 1 各学校の調査結果及び市全体の調査結果の分析による課題の把握
- 2 各学校で作成する『学力向上プラン』の内容の精査及び実践に対する指導助言
- 3 校長研修会・教頭研修会での学力向上に関する指導
- 4 ICT機器を効果的に活用した授業改善のための研修会の実施
- 5 教務主任研修会・研究主任研修会等での学力向上に関する研修及び指導